

## ◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(女性, 10歳代)あります。本年初めての報告となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。  
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症)の報告が1例(男性, 50歳代)あります。症状は発熱, 肝膿瘍で, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となっています。
- ・ 梅毒(晩期顕症)の報告が1例(男性, 40歳代)あります。症状は神経症状で, 推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は5例となっています。過去10年間で最多となった平成26年(11例)を上回るペースで増えていますので, 今後の発生動向に注意が必要です。

## ◆ 今週のトピックス: <手足口病>

手足口病の定点当たり報告数は0.63(26例)で, 前週 0.22(9例)に比べ増加し, 過去5年平均値を上回る状態が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類: 梅毒(晩期顕症) 1例【1月以降の累積報告数 5例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

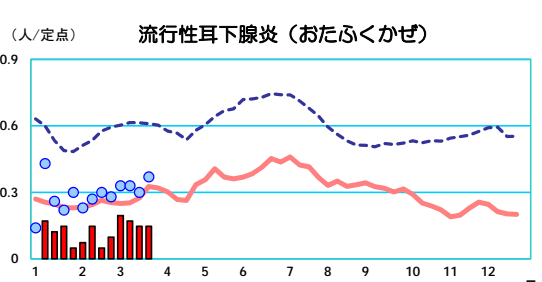
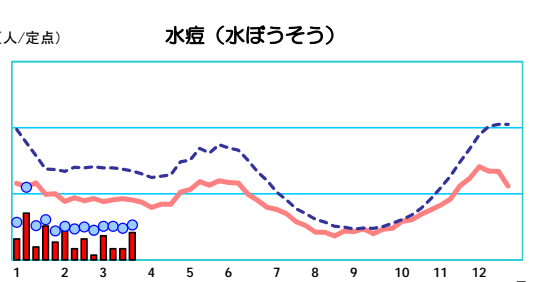
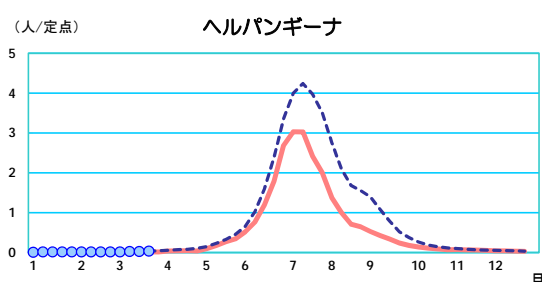
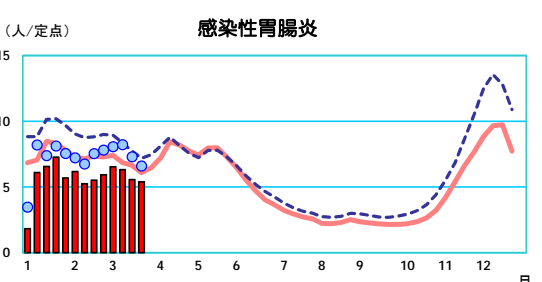
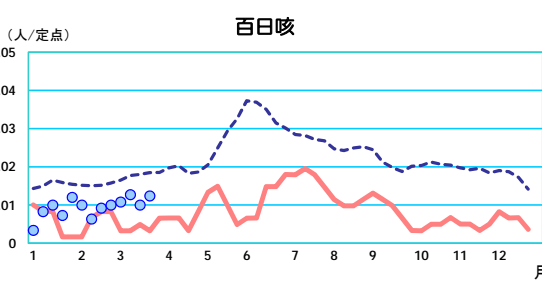
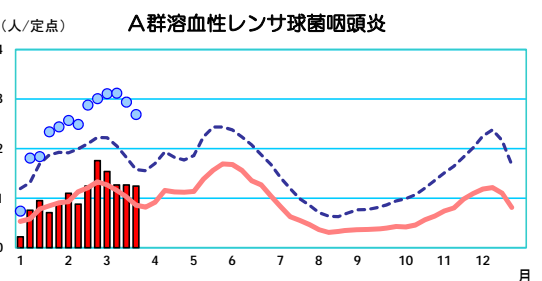
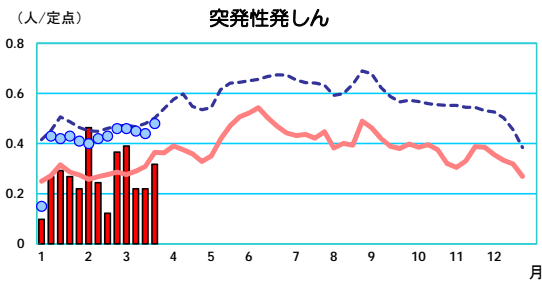
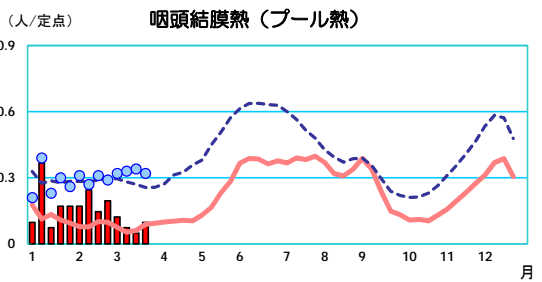
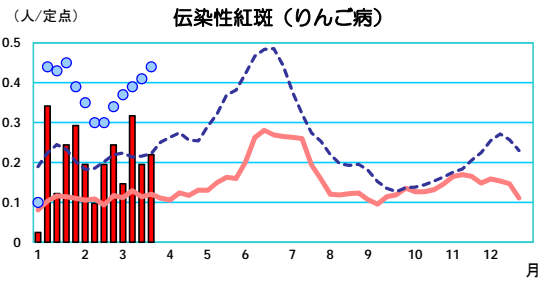
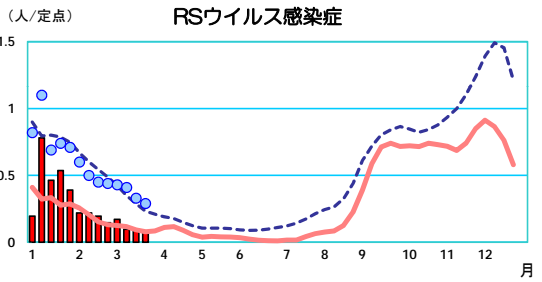
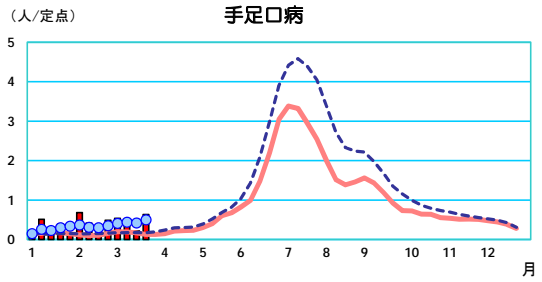
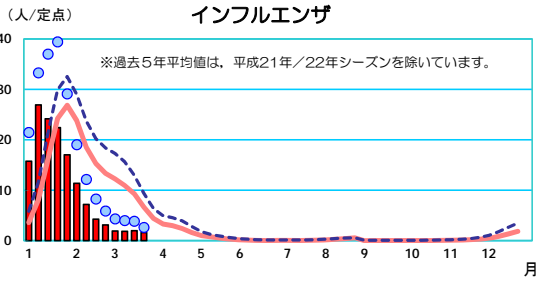
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 59	108
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5. 39	221
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 24	51
	③ 手足口病	0. 63	26
	④ 水痘	0. 41	17
	⑤ 突発性発しん	0. 32	13
眼科	流行性角結膜炎	0. 10	1

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年4月2日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



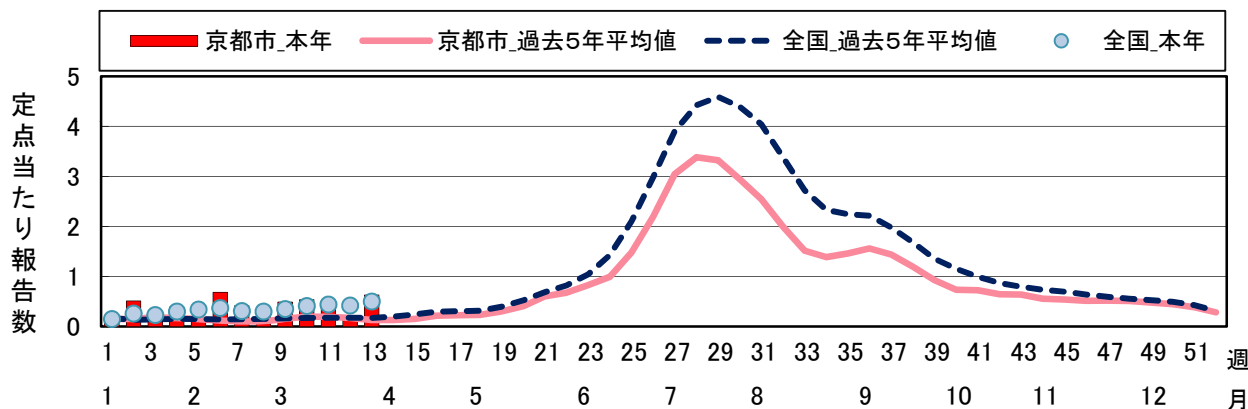
## 第13週(3月23日～3月29日)トピックス: <手足口病>

手足口病の定点当たり報告数は0.63(26例)で、前週 0.22(9例)に比べ増加し、過去5年平均値を上回る状態が続いています。さらに、過去5年間の同時期と比較して最も多い報告数となっています。

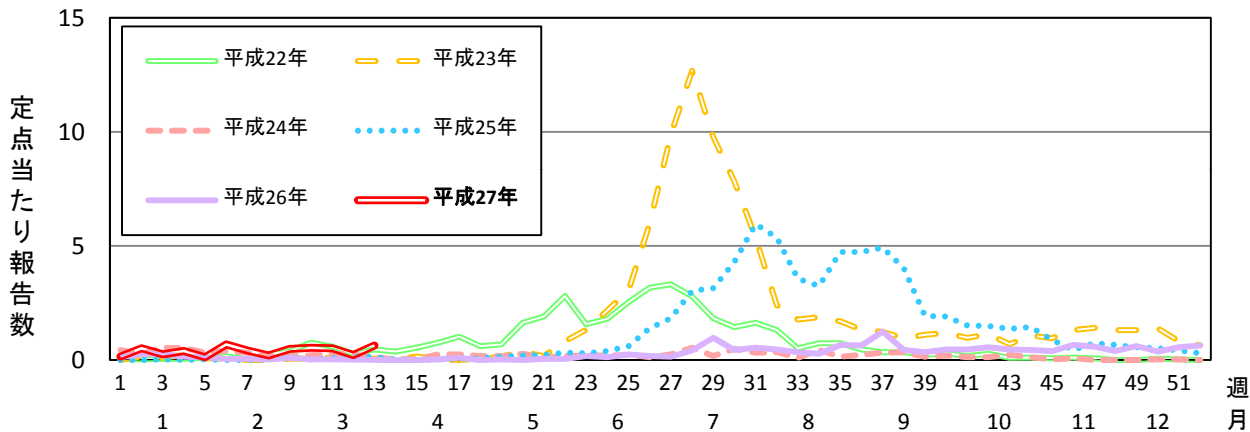
都道府県別では、28道府県で前週より増加しています。西日本での報告が多く、特に島根県(3.65)においては、警報レベル「5.0」に迫る勢いで急増しています。

本疾患は、ウイルスの感染によって起こり、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水ぶくれができる感染症です。例年、7月～8月に流行のピークを迎えます。感染経路は、感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染、及び水ぶくれの内容物や便の中のウイルスが手を介して口や眼などの粘膜に入る経口及び接触感染です。特に、かかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。症状は、感染してから3～5日後にあらわれます。こまめに手を洗う、咳やくしゃみをする時には口と鼻をティッシュ等でおおう、集団生活ではタオルの共用を避けるなどを心がけましょう。症状がおさまった後も、便の中にはウイルスが含まれますので(2～4週間)、トイレの後、オムツ交換の後及び食事の前にはこまめな手洗いを心がけましょう。

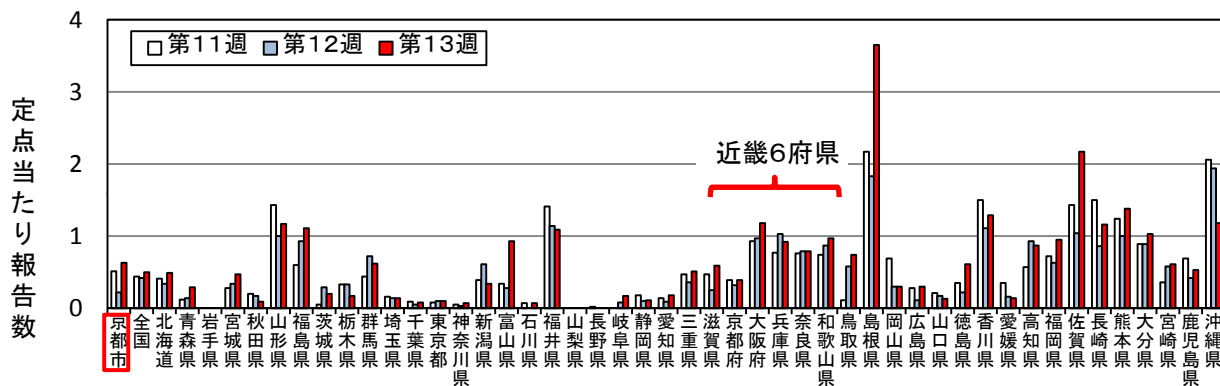
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の過去5年間の流行状況



都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第13週

疾病,行政区別報告数

平成27年3月23日～平成27年3月29日

データ入手日:平成27年4月2日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	10	-	-	5	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
上京	5	-	-	2	16	-	1	1	-	-	-	-	-	-						
左京	7	-	-	3	33	4	4	-	2	-	-	1	-	-						
中京	5	1	-	1	6	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	15	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	3	-	1	6	8	1	3	-	5	-	-	-	-	-						
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	9	-	1	3	12	4	5	-	1	-	-	-	-	-						
右京	13	-	2	12	51	6	4	-	-	-	-	2	-	1						
伏見	20	1	-	17	56	-	8	3	3	-	-	2	-	-						
西京	20	1	-	1	19	1	1	4	1	-	-	-	-	-						
京都市計	108	3	4	51	221	17	26	9	13	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎(※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎(※3)	感 染 性 胃 腸 炎(※4)	
男女合計																				
北	1.43	-	-	1.25	1.75	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	1.00	-	-	0.67	5.33	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-						
左京	1.00	-	-	0.75	8.25	1.00	1.00	-	0.50	-	-	0.25	-	-						
中京	1.00	0.33	-	0.33	2.00	0.33	-	-	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	5.00	-	-	0.50	6.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.43	-	0.25	1.50	2.00	0.25	0.75	-	1.25	-	-	-	-	-						
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.80	-	0.33	1.00	4.00	1.33	1.67	-	0.33	-	-	-	-	-						
右京	1.63	-	0.40	2.40	10.20	1.20	0.80	-	-	-	-	0.40	-	1.00						
伏見	1.82	0.14	-	2.43	8.00	-	1.14	0.43	0.43	-	-	0.29	-	-						
西京	2.86	0.25	-	0.25	4.75	0.25	0.25	1.00	0.25	-	-	-	-	-						
京都市計	1.59	0.07	0.10	1.24	5.39	0.41	0.63	0.22	0.32	-	-	0.15	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年3月23日～平成27年3月29日

データ入手日:平成27年4月2日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	108	-	2	-	6	2	5	-	8	3	4	3	14	9	7	8	15	9	8	3	2
RSウイルス感染症		3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		4	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	-	1	3	3	6	5	7	7	3	3	-	5	-	8	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		221	3	9	26	31	16	14	21	25	17	13	10	14	7	15	-	-	-	-	-	-
水痘		17	-	1	4	4	1	3	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	26	-	-	9	5	8	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		9	-	-	-	1	1	1	1	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	6	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	-	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.59	-	0.03	-	0.09	0.03	0.07	-	0.12	0.04	0.06	0.04	0.21	0.13	0.10	0.12	0.22	0.13	0.12	0.04	0.03
RSウイルス感染症		0.07	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.10	-	-	0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.24	-	0.02	0.07	0.07	0.15	0.12	0.17	0.17	0.07	0.07	-	0.12	-	0.20	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.39	0.07	0.22	0.63	0.76	0.39	0.34	0.51	0.61	0.41	0.32	0.24	0.34	0.17	0.37	-	-	-	-	-	-
水痘		0.41	-	0.02	0.10	0.10	0.02	0.07	-	0.07	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.63	-	-	0.22	0.12	0.20	0.02	0.02	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.22	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.15	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	-	-	-	0.02	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年4月2日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	290	212	129	126	135	108
RSウイルス感染症	8	6	7	4	4	3
咽頭結膜熱	6	8	5	3	2	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	72	63	52	52	51
感染性胃腸炎	226	243	268	259	228	221
水痘	13	3	15	7	7	17
手足口病	8	20	22	21	9	26
伝染性紅斑	8	10	6	13	8	9
突発性発しん	5	15	16	9	9	13
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	2	4	8	7	6	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	1	-	3	1	1
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	618	594	539	505	461	459

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	4.26	3.12	1.90	1.85	1.99	1.59
RSウイルス感染症	0.20	0.15	0.17	0.10	0.10	0.07
咽頭結膜熱	0.15	0.20	0.12	0.07	0.05	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24	1.76	1.54	1.27	1.27	1.24
感染性胃腸炎	5.51	5.93	6.54	6.32	5.56	5.39
水痘	0.32	0.07	0.37	0.17	0.17	0.41
手足口病	0.20	0.49	0.54	0.51	0.22	0.63
伝染性紅斑	0.20	0.24	0.15	0.32	0.20	0.22
突発性発しん	0.12	0.37	0.39	0.22	0.22	0.32
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	0.02	-	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.10	0.20	0.17	0.15	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.10	-	0.30	0.10	0.10
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	12.26	12.51	11.90	11.32	10.01	10.22

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。